



# きざき

<http://www.kisho.city-niigata.ed.jp/>



2019年度 第10号

## 「リピーター」と「スピーカー」が創り出す木崎小学校の学校支援

校長 増 井 一 久

「木崎小学校の保護者は学校支援にとっても積極的だ！」

昨年の秋頃、うれしいわさがどこからか北区教育支援センターに届いたようです。すると、「今、多くの学校は保護者の協力が得られにくい状態である。なぜ、木崎小学校は保護者が協力的なのか。その秘密を教育ミーティングで発表してほしい。」とのご指示が北区教育支援センターからありました。

依頼を受け、さっそく昨年度の保護者や地域の皆さまの教育活動への参画の記録を調べてみました。ご支援くださった方の延べ人数は、保護者116名、地域の方150名、その他3名です。この数値には「基準」というものはありませんが、確かに保護者の皆さまのご支援が多いと感じました。

保護者や地域の皆さまの窓口は地域教育コーディネーターです。その「秘密」を尋ねてみました。「特段何もしていませんよ。」とのことですが、私は地域教育コーディネーターの日々の取組や諸対応の中に、協働・参画を積極的にする働きかけの工夫があることに気付きました。キーワードとして注目したのは、「リピーター」（繰り返し教育活動に参画してくださる方）と「スピーカー」（良さを積極的に周りの人に伝えてくださる方）の存在でした。

### 「リピーター」と「スピーカー」を創り出す地域教育コーディネーター

- (1) 各学校行事のねらいと活動内容を熟知している。
- (2) 児童の実態（特別な支援を要する児童についても）を熟知している。
- (3) 学校行事毎にその支援の仕方に精通した方が誰かを熟知している。
- (4) 支援者一人一人に支援内容等について、明確な指示を出している。
- (5) 支援者一人一人の不安を把握し、それが無くなるまで親身に対応している。
- (6) 支援者の活動後の「意見・感想」を計画立案者に伝え、次に反映させている。
- (7) 支援者に感謝の気持ちを伝えている。
- (8) 地域教育コーディネーター通信「いきいき きざきっ子応援団」を定期的に発行している。

学校と地域をつなぐ地域教育コーディネーターの細やかな気配りにより、協働・参画してくださった方々が、次も協力したいと感じたり（リピーター）、やりがいや面白さを周りの人々に伝えたり（スピーカー）してくださったことが好循環となっているものと思われます。また、当校の子どもが自宅で「今日は〇〇さんのお家の人が来てたよ。」と話題にしてくれることも少なからず影響があると思われます。

数年前、当校は落ち着かない状態になったことがあります。その時、保護者の皆さまの学校への関心が高まり、「自分たちが何とかしなければならない」という気持ちが芽生えたということも伺いました。これらのことが、「木崎小学校の保護者は学校支援にとっても積極的だ！」につながったのだと思います。うれしいことに、最近ではお父様方の参画が年々増えています。

これからも保護者や地域の皆さまと共に木崎小学校の教育を創って参ります。どうぞよろしくお願ひいたします。

# 学校評価年度末報告

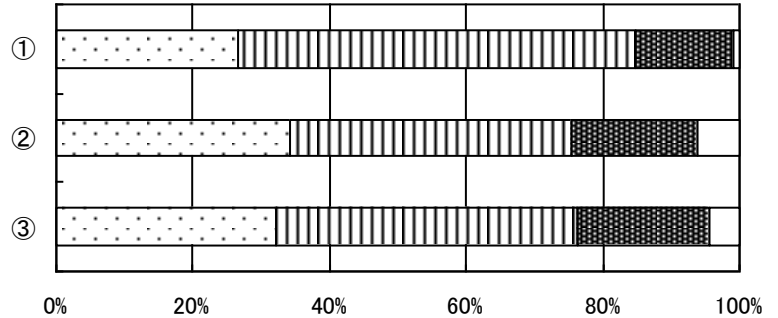
「保護者意識調査」にご協力いただきありがとうございました。9月からの教育活動を振り返りました。その結果をお知らせします。

1【学力の向上】 友達とかかわり合いながら学びを深め、学んだことを論理的に表現できることに重点的に取り組んでいます。

グラフの見方 そう思う まあそう思う あまり思わない そう思わない  
 「そう思う」と「まあそう思う」を肯定的評価として捉えています。

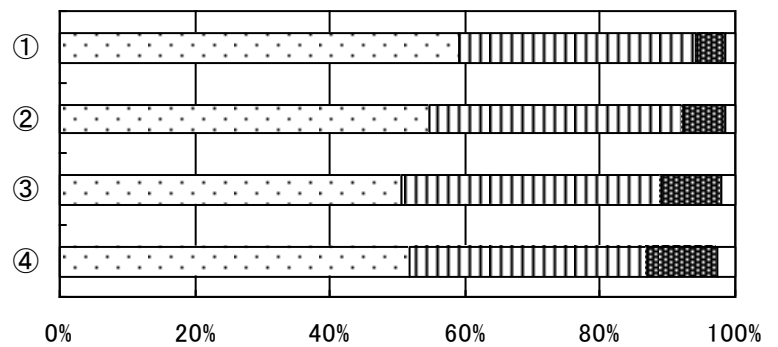
## <保護者意識調査>

項目	肯定的評価の割合
① 学校の勉強の内容が分かっていますか。	84.7%
② 「10分×学年」の家庭学習をしていますか。	75.4%
③ 全校テスト（国語，算数）に向けて練習をしていますか。	76.2%



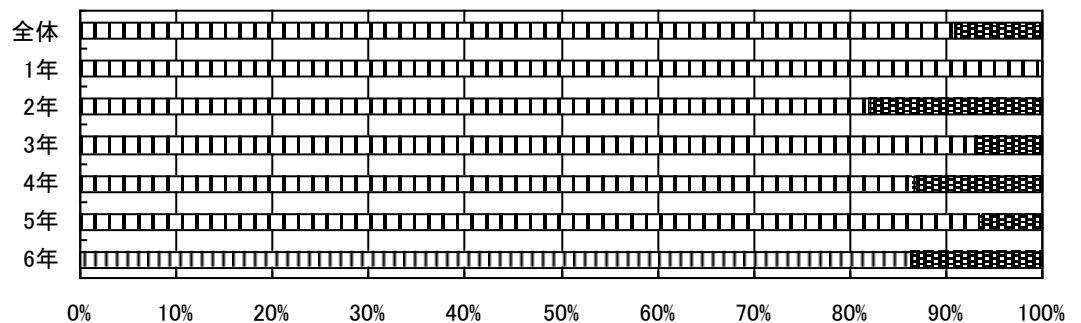
## <子どもアンケート>

項目	肯定的評価の割合
① 国語の勉強は、分かりますか。	94.4%
② 算数の勉強は、分かりますか。	92.2%
③ 授業中、論理的に考え、表現するためのスキルを使うことで、学習内容がよく分かったと感じますか。	89.2%
④ 「振り返り」では、学習して分かったことや大事だと思うこと、次の学習でやってみたいことなどを順序よく書いていますか。	86.9%



○家での1日の勉強時間について( ; 10分×学年している ; 10分×学年していない)

学年	肯定的評価の割合
全体	91.1%
1年	100%
2年	88.2%
3年	93.1%
4年	86.6%
5年	93.7%
6年	86.4%



## <今後に向けて>





保護者の方からいただいたアンケートの結果を見ると、「10分×学年の家庭学習をしている」前期73.2%→後期75.4%、「全校テスト（国語，算数）に向けて練習をしている」73.1%→76.2%と、肯定的評価が上がっていることが分かります。

その一方で「学校の勉強の内容が分かっている」86.6%→84.7%とほぼ横ばいの傾向が見られます。次の学年へ向け、学習内容がより確実に定着するよう、復習に力を入れた取り組みが必要と考えられます。

児童のアンケートの結果について見ると、「国語の勉強が分かる」前期92.2%→後期94.4%、「算数の勉強が分かる」90.2%→92.2%と、前後期ともに高い評価になっています。また、日々の授業についても「授業中、論理的に考え、表現するためのスキルを使って、学習内容がよく分かったと感じる」88.6%→89.2%、「振り返りでは、学習して分かったことや大事だと思うこと、次の学習でやってみたいことなどを順序よく書いています」88.8%→86.9%と、こちらも高い評価になっています。今年度は、全クラスが学年に応じた「学びのスキル」を掲示し、友達とかかわり合いながら論理的に考え、学びを深める授業づくりに力を入れてきました。今後も子どもたちが意欲的に考え、学びを深めることのできる授業を目指して研修を進めていきます。

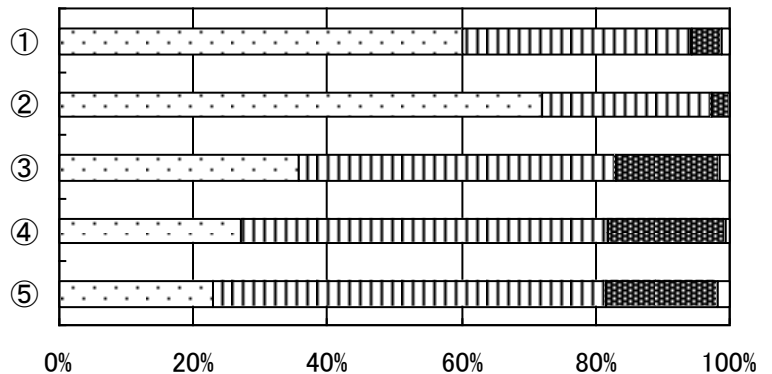
昨年度末のアンケートでは、「10分×学年」の家庭学習を行っている児童の割合が77.4%でしたが、今年度は91.1%と大きく上昇しました。学校と家庭をつなぐ「ステップアップタイム」の取り組みが着実に定着していることがうかがえます。日々の家庭学習へのご協力に深く感謝いたします。今後も保護者の皆様と連携して、木崎小の子どもたちのさらなる学力向上を目指します。

2【豊かな心】 木崎小の合い言葉「時間を守ります・元気にあいさつします・静かに聞きます」等の生活目標の徹底と、よりよい人間関係づくりに重点的に取り組んでいます。

グラフの見方  そう思う  まあそう思う  あまり思わない  そう思わない  
 「そう思う」と「まあそう思う」を肯定的評価として捉えています。

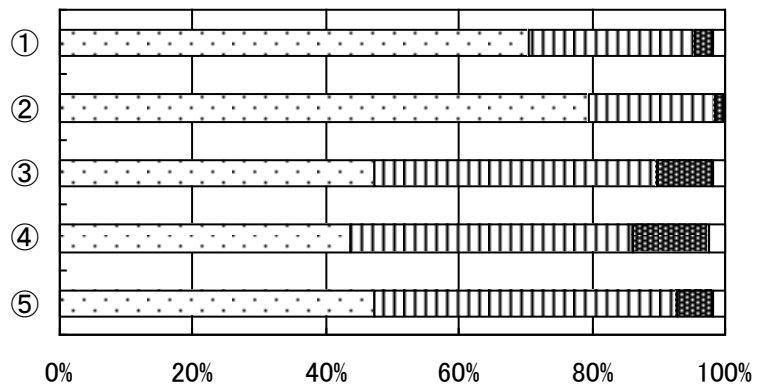
<保護者意識調査>

項目	肯定的評価の割合
① 学校に行くのが楽しそうである。	94.3%
② 学校に仲の良い友達がいる。	97.5%
③ 家族や地域の方にあいさつをしている。	83.0%
④ きまりや約束を守っている。	82.0%
⑤ 周りの人のことも考えて行動している。	81.5%



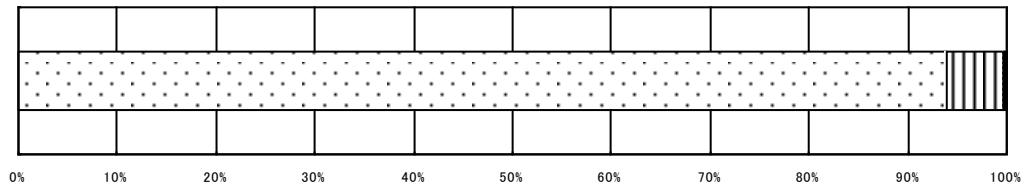
<子どもアンケート>

項目	肯定的評価の割合
① 学校は楽しいですか。	95.5%
② 学校に仲の良い友達がいいますか。	98.6%
③ 学級会で自分たちのことについて考え、解決しようと話し合っていますか。	89.7%
④ 自分には良いところがあると思いますか。	86.1%
⑤ 自分のことだけでなく、周りの人のことも考えて行動していますか。	92.8%



○ いじめの有無 (  : ない  : あった  : 受けている )

	肯定的評価の割合
ない	93.9%
あった	5.8%
受けている	0.3%



<今後に向けて>

保護者意識調査・子どもアンケートの結果を見ると、「①学校が楽しい」、「②仲の良い友達がいる」についての肯定的評価は、保護者評価、児童評価がいずれも94%以上と高い割合になっており、学校生活が楽しく、友達関係が良いと感じている様子が分かります。



「③あいさつ」については保護者の肯定的評価が前期より若干下がりましたが、高い割合でした。生活目標の期間だけではなく、年間を通してあいさつの指導を行い、これまで以上に家庭・地域へもあいさつが広がるようにしていきます。

子どもアンケートの結果を見ると、「③学級会で自分たちのことについて考え、解決しようと話し合っていますか」については、肯定的評価が89.7%（前期89.5%）でした。今後は、学年に応じた話し合いのめあてを示すことで、より話し合いの力が身に付くようにしていきます。

「④自分には良いところがあると思いますか」の項目では、肯定的評価が前期と同じで86.1%でした。「⑤周りの人のことも考えて行動していますか」の肯定的評価は保護者が81.5%（前期79.3%）、児童が92.8%（前期92.2%）でした。互いに認め合うことを生活目標として取り組み、委員会活動など、児童主体で友達や自分の良いところを目に見える形に表すことで、自分の良いところを認めたり、気付かせたりしていきます。





「いじめがあった・受けている」と回答された保護者が6.1%でした。今後も、いじめは絶対に許されない行為として共通認識し、学校全体で指導に当たっていきます。

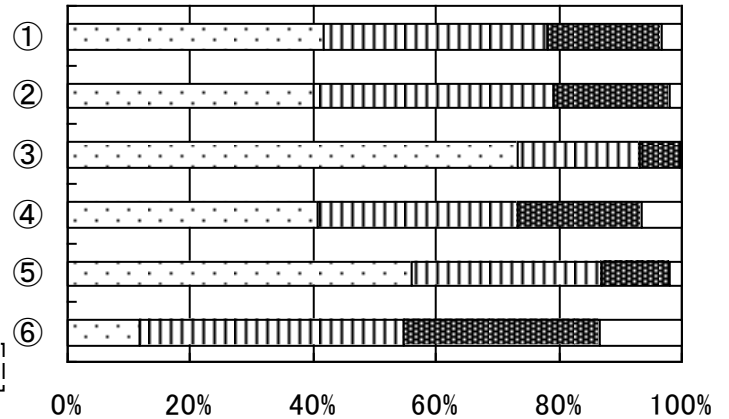
3【健やかな体】 食育の充実や生活習慣の改善，体力の向上について重点的に取り組んでいます。

グラフの見方  そう思う  まあそう思う  あまり思わない  そう思わない  
 「そう思う」と「まあそう思う」を肯定的評価として捉えています。

<保護者意識調査>

項目	肯定的評価の割合
① 進んで体を動かして遊んだり運動したりしている。	78.1%
② 家で好き嫌いせず食べている。	74.8%
③ 毎日朝食を食べている。	93.2%
④ 登校の1時間前までに起床している。	73.3%
⑤ 朝晩，歯みがきをしている。	86.7%
⑥ 平日のテレビやゲームの時間は，どれくらいですか。	54.1% (1時間以内～2時間の範囲)





⑥は、 1時間以内  1～2時間  2～3時間  3時間以上

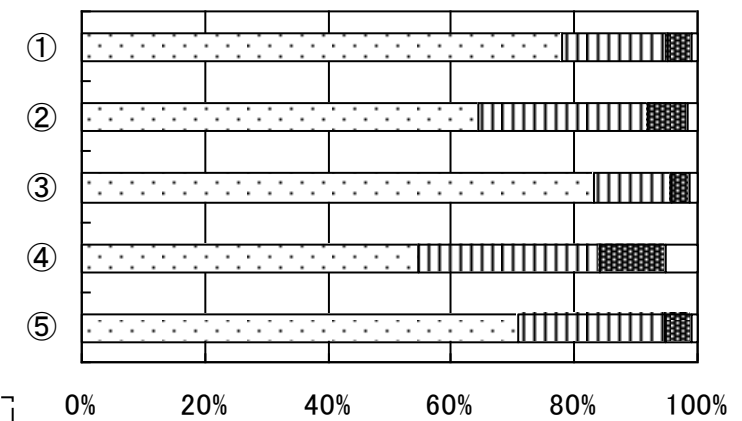






<子どもアンケート>

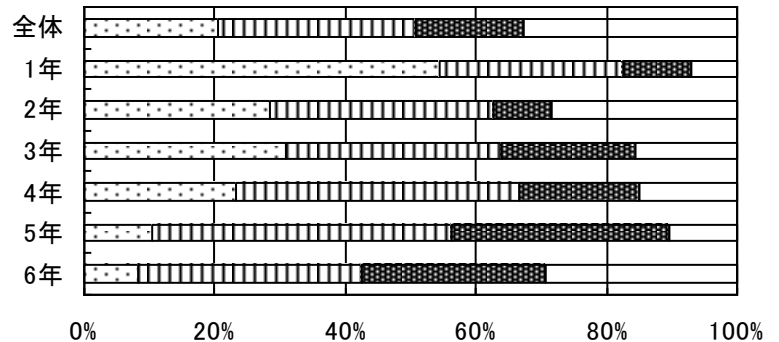
項目	肯定的評価の割合
① 体を動かして遊んだり運動したりすることは楽しい。	94.9%
② 給食は好き嫌いせず，残さず食べている。	94.1%
③ 朝食は，毎日食べている。	96.1%
④ 家を出る1時間前に起きています。	86.7%
⑤ 毎晩，歯磨きをしている。	94.7%

⑥ 各学年における平日のテレビやゲームの時間

⑥は、 1時間以内  1～2時間  2～3時間  3時間以上



学年				
全体	20.8%	30.1%	15.8%	33.1%
1年	54.3%	28.0%	10.5%	7.2%
2年	28.3%	34.3%	8.9%	28.5%
3年	31.0%	32.0%	20.6%	16.4%
4年	23.3%	43.3%	18.3%	15.1%
5年	10.4%	45.8%	33.3%	10.5%
6年	8.2%	34.4%	27.9%	29.5%



<今後に向けて>

今年度の保護者と学校の協力による取組により，子どもアンケートで「給食は好き嫌いせず，残さず食べている」と94.1%の児童が回答しました。児童に望ましい食習慣が定着しつつあると感じております。今後もさらに，肯定的な評価がより高まるよう，きざキッズすこやか週間等の取組を通して，保護者と協力して定着化を図っていきます。

「体を動かすこと」に関する児童アンケートでは，肯定的評価が90%以上でした。水泳カードや鉄棒カードを活用したり，運動量を確保した授業を各担任が心掛けて指導したりした結果がよい姿につながったと考えます。今後も，体育の時間などを使って様々な運動に接し，進んで運動する子どもの育成に努めていきます。